

2025 年 11 月 25 日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

株式会社第四北越銀行を通じた「第四北越ファンドラップ」の提供開始について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長: 大山 一也、以下「当社」)は、2024 年8月1日に締結した資産運用領域での協働活動に関する業務提携契約に基づき、2025 年 11 月 25 日より、株式会社第四北越銀行(頭取: 殖栗 道郎、以下「第四北越銀行」)のお客さまに、投資一任運用サービス「第四北越ファンドラップ」の提供を開始するのでお知らせします。

当社と第四北越銀行は、本提携に基づき金融商品販売における人材育成やコンサルティングツールの作成など個人向け取引推進における協働活動を行っています。今後も「第四北越ファンドラップ」を起点とした協働活動を通じて、お客さまの多様なニーズにお応えし、お客さまの最善の利益を追求していきます。

【資産運用領域における業務提携締結の意義】

三井住友トラストグループは、『託された未来をひらく』というパーパスのもと、信託の受託者精神に立脚し、お客さま本位のコンサルティングの実践を通じて、人生 100 年時代の「ベストパートナー」になることを目指しています。

第四北越銀行は、『地域社会の発展への貢献』を使命とし、地域のお客さまの資産運用・資産形成ニーズに的確にお応えしていくため、良質な金融商品・サービスの拡充を行っています。そして、最適なコンサルティングを通じて、地域のお客さまの安定的な資産形成の実現を推進しています。

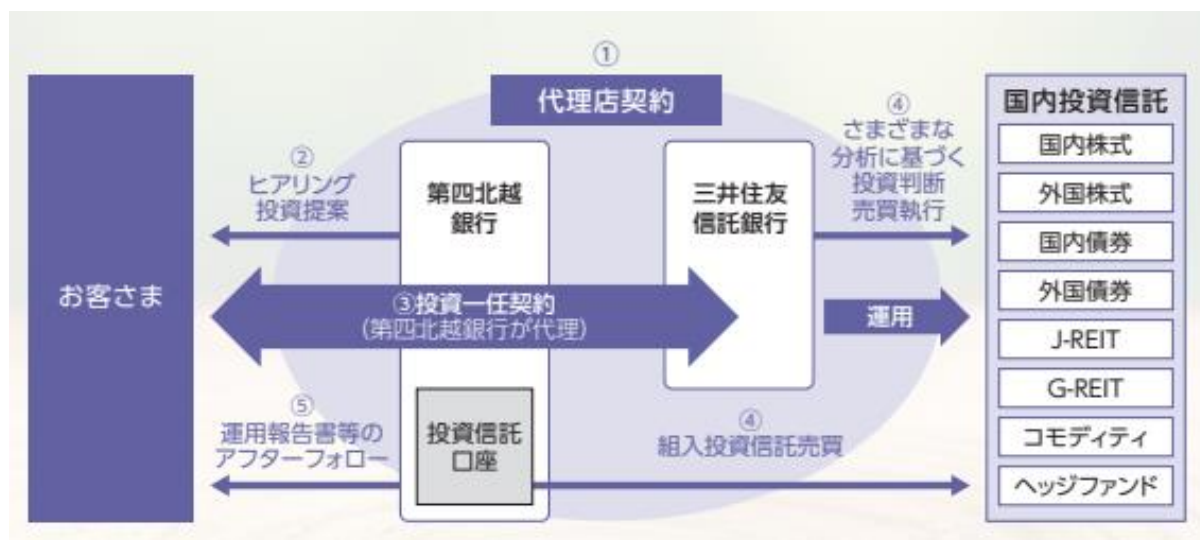
当社と第四北越銀行は、「第四北越ファンドラップ」をはじめとした資産運用領域における幅広い協働活動を通じて、お客さまの多様なニーズにお応えし、最善の利益を追求します。一人ひとりのこれからを考えたトータルコンサルティングの実践により、お客さまの「ファイナンシャルウェルビーイング(※1)」の実現に貢献していきます。

(※1) 安心して健やかに生きていくために、お金についての不安をとりのぞき、お金との健全な向き合い方ができている状態のこと



【第四北越ファンドラップのスキーム】

第四北越銀行は当社の代理店として、「第四北越ファンドラップ」の投資一任契約を締結します。



「第四北越ファンドラップ」は、世界経済の中長期の成長を運用収益の源泉とし、徹底した分散投資と長期投資により安定したリターン獲得を目指す運用方針を元に、当社が運用を担います。

当社では、長年の企業年金運用で培ったノウハウや専門的知見を生かして 2007 年から「三井住友信託ファンドラップ」を運用しています。現在「三井住友信託ファンドラップ」の契約残高は約1兆 7,168 億円、契約者数は約9万 8,819 人、そのうち 99.7%のお客さまの評価損益はプラスで、多くのお客さまにご愛顧いただいています。(2025 年 10 月末時点)

当社は、安定した運用で「第四北越ファンドラップ」のお客さまにも貢献できるよう、努めていきます。

以 上